

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：本省道路局地方道・環境課長

担当課長名：祢屋 誠

事業名	主要地方道 新千歳空港線 <small>しんちとせくうこうせん</small>		事業区分	地方道	事業主体	北海道	
起終点	自：北海道千歳市美々 <small>ほっかいどうちとせしひひ</small> 至：北海道苫小牧市字美沢 <small>ほっかいどうとまこまいしあざみさわ</small>			延長	5.1 km		
<b>事業概要</b> 主要地方道新千歳空港線は、新千歳空港と国道36号を直結する延長約5.1kmの路線であり、苫小牧東部工業地域や苫小牧港と新千歳空港を連絡する重要な幹線道路である。本事業は、拡幅・線形改良を実施し、北海道の空の玄関として国内のみならず国際的にも重要な新千歳空港への安全で円滑な交通の確保や、本道の産業や経済の活性化に大きく寄与するものである。							
H3年度事業化		H3年度都市計画決定		H4年度用地着手		H3年度工事着手	
全体事業費	約41億円		事業進捗率	84%		供用済延長	2.8km
計画交通量	13,400台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体) 2.1 (残事業) 3.6	8/40億円 (事業費：6/35億円 維持管理費：2/5億円)		29/84億円 (走行時間短縮便益：18/74億円 走行費用減少便益：6/6億円 交通事故減少便益：4/4億円)		平成17年	
<b>感度分析の結果</b> 交通量変動：B/C=2.3(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費+10%) B/C=2.3(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.9(事業期間+20%) B/C=2.2(事業期間-20%)							
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（第二種空港[新千歳空港]へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト[苫小牧東部工業地域]を支援する） 外4項目に該当							
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地元の苫小牧市を中心とする苫小牧地方総合開発期成会などから毎年早期整備の要望を受けている。							
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化は特にない。							
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成17年度までに、用地買収99%、改良工事75%、舗装工事61%、橋梁工事50%進捗し、約2.8kmを供用している。残事業は、改良・舗装工事約2.3km、橋梁工事1基である。							
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 事業着手後、大口地権者に会社更生法の適用に伴う抵当権が生じ大規模な用地買収が出来なくなったことや埋蔵文化財の調査等で時間を要したが、現在は解決しており今後事業が遅延する要因がないことから、平成19年度の完成が見込まれる。							
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 歩道設置区間の見直しや、再生資源（舗装合材、路盤材等）の使用、現場発生すき取り土を法面被覆土へ利用するなどコスト縮減を図っている。							
<b>対応方針</b> ：事業継続							
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
<b>事業概要図</b> 							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。